

不登校を考える親の会

(代表) 加嶋文哉

〒876-0814

佐伯市東町12-15

0972-24-1669



(年会費 2,000円) (E-mail) ichibanboshi@cts-net.ne.jp

- 「星の会」は1994年10月22日に佐伯で生まれました。
- 「星の会」は、不登校の子どもを持つ親の会です。親以外にも不登校について継続的に考えていきたい教師・個人も入会 できます。
- 「星の会」の例会は、大分・津久見で月1回開いています。
- 「星の会」は年会費2,000円です。(1月が更新の月)
- (例会には参加できなくても)会報を読むだけの会員も大歓迎です。周りの方に拡げて下さい。

自己肯定感をあなたに贈る

84号から連載した①～⑤は「自己肯定感を育てるために」というタイトルでした。このタイトルは少し違和感を感じていました。意図して育てるものではないからです。ですから、タイトルを変更しました。「自己肯定感をあなたに贈る」にしました。いいタイトルだなあ…。ただ、このシリーズは今回は最終回となります。

夜になると、「明日は、学校に行くから…」と言いながら日課表をそろえるわが子。しかし、次の日の朝になると、蒲団から出てこれません。なかなか起きてこないわが子に、「そんなに苦しいのなら、学校を休んだら…」と声をかけようかどうか迷います。

「もう少し頑張らせた方が良くはないか。」「休むかどうかは自分で決めることが大切。」「無理をさせることに意味があるのか。」「ちよっとくらい苦しいからといって休ませても良いものなのか。」「…。結局休むことになったわが子に対して、「今日もだめだったか。」と、つい視線をそらしてしまう。毎朝のように学校に欠席の連絡をするのも、慣れるどころか受話機と気持ちが重い…。そして、その親の落胆した様子を見ている(感じている)わが子…。

学校を休むことで、楽になってくれればいいのですが、子どもの方は学校に行けなかった自分を責める時があります。「学校に行くことができなかった自分」に対して情けなく感じたり、「親を悲しませているのは自分のせいだ。」と思っている時です。「もう、消えてしまいたい…。」と自分の存在そのものを否定しかけている時です。

こうした時に、私たち親にできることは何なのでしょう。

子どもに限らず、悲しきや苦しきなどの感情は、「つらかったね」「苦しかったね」という共感の言葉を誰かにかけてもらえないと、ますます広がり深くなっていきます。マニュアルとして(下心のある)共

感の言葉をかけるのではなくて、共に悲しむ「人のぬくもり」につつまれた共感の言葉が届いた時に、その人の気持ちは少し楽になります。ですから、子どもが学校に行くことができずに蒲団にくるまっている時に、どのくらい蒲団の中でドキドキしていたかをイメージして下さい。そして、「いろいろ考えて苦しかったね。もうそれ以上、自分を責めたらダメ。学校なんか行かなくてもどうにかなるよ。」と、背中をさすりながら声をかけてほしいのです。

「よくがんばったなあ」と子どもの成長や努力や達成を認めることは、とても大切なことです。それと同じくらいに大切なことは「なかなかできない」時に視線をそらさずにそばにいるぬくもり(安心)です。「この子は精一杯生きている」ととらえる愛です。

不登校を経験したある高校生が、腹痛を我慢しながら学校に通っていました。3者面談の時に、担任が「君はやればできる。宿題とかあまりやってないけど、もうちょっと頑張った方が良くない。」と言います。力なく「はい、がんばります。」と答えるしかない子ども。母親も「先生の言う通り。もう少し頑張った方が良くない。」と言おうと思いましたが、できないことを約束するわが子と、疲れきってテレビの前にグタッとしている姿が重なります。その時、母親から思わず出た言葉は…。「先生、この子は、もう十分頑張っています。これ以上は、がんばれないと思います。」でした。帰りの車の中で、子どもが「お母さん、あの言葉は良かった。」と言います。「良かったあ…。」と心でつぶやく母親。

私たち親は、不登校の子どもと向き合いながら、「頑張るといふこと」「親の愛とは何か」「弱音を吐くことの大切さ」を学んでいるのかもしれない。

■「がんばる」時の自分も愛されるが、「なかなかできない」時の自分も無視しないで愛してくれるという経験が、子ども の中にしなやかな芯をもつ自己肯定感を膨らまします。

1月例会

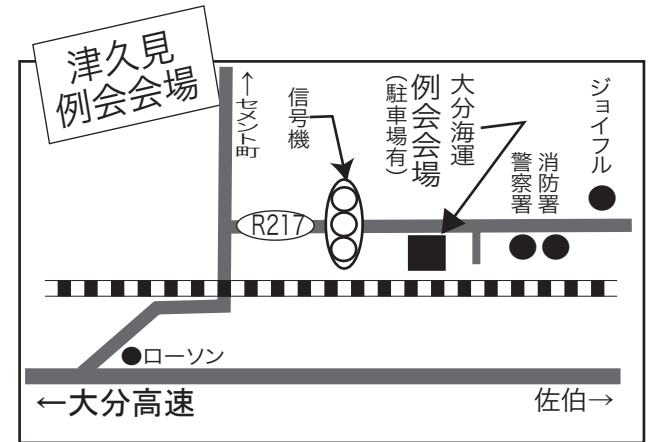
■第50回 大分例会 (通算320回) 不登校基礎講座

講師は加嶋がします。周りの方を誘ってください。

- 1月10日(土) 19:00~21:30
- 大分コンパルホール 視聴覚室(4F)
- 参加費 会員は無料/一般は300円

■第144回 津久見例会(通算319回)

- 1月9日(金) 19:30~22:00
- 大分海運の事務所(2階)
- 詳しくは、戸高さん(090-9792-7317)まで



次回予告

- 大分例会 2月7日(金)19:00~21:40/コンパルホール
- 津久見例会 2月14日(金)19:30~22:30
- 変更する場合がありますので、会報で確認して下さい。

これから新しい年の
2009年の
会費を集めます
年会費は **2000** 円です

- 会費は2009年の分だけで結構です。2008年以前のさかのぼっての徴収はしません。
- 会費は、加嶋宛に封書で郵送して下さい。外からお金が見えない工夫をして下さいね。
- 「星の会」をやめたい方は、加嶋まで電話かメールかハガキ・封書等でご連絡下さい。
- 会費は「星の会」を続ける意思の確認でもあります。続ける方は納入をお願いしますね。

会費を納めたかどうか
はっきりしない方は…
封筒に貼られた
ラベルを見てください

876-0814
佐伯市東町12-15
加嶋文哉 様 0

名前につく「様」の後に
0 の数字がある方は、未納です。
-1 の数字がある方は、納めています。
尚、間違いがある場合は加嶋までご連絡を。